

令和元年度 第1回新温泉町行財政改革推進委員会会議録（要旨）

[開催日時] 令和元年8月22日(木)午前10時00分～午前11時30分

[開催場所] 浜坂多目的集会施設 1階 会議室

[出席者] 朝野委員、河越委員、小谷委員、仲山委員、西脇委員
橋本委員、藤田委員、松岡委員

事務局 井上総務課長、小林係長、竹中主査

[欠席者] 熊本鎮雄委員、熊本直和委員、森田委員

[傍聴者] ー

=====

[会議次第]

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 第3次行財政改革実施計画の平成30年度実績について

(2) 令和2年度以降の行財政改革大綱について

4 そ の 他

5 閉 会

[内 容]

1 開 会

2 あいさつ

委員長：行財政改革は町の根幹をなす取組である。町長就任後2年が経過し、「おんせん天国」を目玉で進もうとしているが、過疎化は進んでいる。どこかでメスを入れていかなければならない。本日は忌憚のない意見をいただきたい。

3 議 事

(1) 第3次行財政改革実施計画の平成30年度実績について

・主な意見等

委員：P4の累積効果額は14%未達成である。計画期間はあと1年。令和元年度どう取り組むか。

P5の効果額のほとんどは定員管理によるもの。53番の「定員の適正化」のコメントは適切か。

P12の18番「未利用財産の有効活用」について、5年間実施して来て効果額があがっていない。

事務局：効果額のほとんどが定員管理と退職採用の人件費の差額で生まれている。職員数についてもほぼ定員適正化計画の数値に達しており、今後この部分で大幅な効果額は困難と思われる。平成30年度からふるさと納税の返礼品を充実し63,000千円の寄付をいただいている。約半分が自主財源として活用可能であり、計画外ではあるが財源確保の取組は行っている。未利用地についてはこれまで単価見直し、分筆などを行い、買いやすい工夫をしているが実績があがっていない。普通財産の貸付と合わせ引き続き取り組みたい。

委員：P13の20番「使用料等の見直しと減免基準の統一化」について、使用料減免基準は統一されているか。使用料の見直しは行われているか。P13の21番「各種団体への補助金等の見直し」は実績数値が入っていないと判断できない。

事務局：減免については、条例、規則で災害、教育活動など基準を示している。教育委員会では、子供会やPTAの使用についても基準を持っている。使用料の見直しについては、消費税率の変更に伴うコストの増加について検討している。補助金等の見直しは計画時には数値を立てにくい面がある。件数については明示できる。

委員 : P25の57番「給与体系の適正化」は、人勧に伴い見直ししているの
あれば評価はAでよいではないか。

P26の59番「人事評価制度の推進」は、人事評価は給与や人事に反映
されているか。

事務局 : 人勧に伴う改定は実施している。人事評価は一部給与に反映した部分
はある。人事については参考になっている。

委員 : P15の27番「浜坂病院の経営改善」は、病院のあり方検討が行われた
と聞いている。今後何を検討していくのか。

事務局 : 病院のあり方検討委員会から報告書をいただいた。現在、健康福祉課
や病院などにより、地域包括ケアなどについて検討を始めている。

委員 : P20の41番「公用車のエコカーへの更新」は、エコカー導入は燃料費
等のコストを試算して、有利であれば更新時を待たずに、買い替えし
てはどうか。

P9の9番「情報提供の充実」は、各種団体のイベントが団体ごとの
ホームページに掲載されており、旅行者は検索に手間がかかり、その
ことで別の旅行地を選択することに繋がったりする。町のホームペ
ージにイベントカレンダーをつくり各種団体にパスワードを与えて書き
込んでもらうような仕組みができないか。フォトライブラリーが充実
すると取材しやすくなる。ふるさと納税の返礼品はもっとバラエティ
が必要だと思う。町の給水車を活用して温泉配達ができないか。寄付
額も配達距離に応じて見直しできないか。

事務局 : イベントカレンダーの件はご提言として担当課へつなぎたい。給水車
による温泉配達については、衛生上の問題で困難です。

委員 : P27の62番「職員の健康管理の充実」は、職員の健康管理でストレス
チェックは全職員に徹底すべき。

事務局 : 健康診断時に全職員へストレスチェックの資料を渡し、必ず実施する
よう勧奨している。

委員 : P10の11番「情報通信基盤の整備」は、ケーブルテレビについては民
間参入でネット部分は大幅に減少している。老朽化も進んでおり、あ
り方の検討が必要な時期が来ている。

P12の18番「未利用財産の有効活用」は、価格設定が正しいか検討が
必要。不要なものは早く処分した方が固定資産税も入る。片手間では
できない。

P14の22番～24番「上下水道事業の健全経営」は、上下水道料金の見

直しを答申したが、議会で否決された。現在の料金で本当にやっていけるのか。

P24の52番「消防団組織の再編」は、消防団員の確保が困難になっている。温泉は見直しを行ったが浜坂は行われていない。消防団のあり方を検討する時期に来ている。

委員 : P10 の 11 番「情報通信基盤の整備」は、ケーブルテレビについては、テレビの部分をどうするかが問題だが、共聴組合しかないと思う。

P22 の 48 番「公共施設の適正管理」は、ジオパーク館については、町の案内所に変えてはどうか。

P26 の 58 番「退職勧奨制度の推進」は、退職勧奨が無くても、人勧により 58 歳位で退職したら 2～3%の割り増しがあるのでは。

委員 : P27の61番「コンプライアンス（法令遵守）の徹底」は、コンプライアンスの徹底は実績がないので評価が困難である。実績が研修や管理職会議だけでは不十分ではないか。交通死亡事故などもあったのでは。P26の58番「退職勧奨制度の推進」は、退職勧奨の評価は実績が出ていない。

（２）令和２年度以降の行財政改革大綱について

※具体的な提案や意見については次回の委員会にて議題として取り扱う

４ その他

※特になし

８ 閉 会

副委員長：本日は貴重な意見、提言をいただきありがとうございました。